



施政方針

令和4年第2回市議会定例会で
市長が発表した「施政方針」から、
本市が目指す方向性と今年度の取
組みをお伝えします。

第7次鹿角市総合計画

ふるさとを誇り 未来を拓くまち 鹿角

このたびの官製談合事件により、鹿角市政に対する信頼は大きく失墜いたしました。市政の推進には、皆さんのご理解とご協力が不可欠であり、それには市役所全体に対する信頼があつてこそ成り立つものです。

総合計画の実現に向けて、施策を推進していくには、信頼回復に向けた変革が必要であり、市を挙げて不断の努力をしていかなければなりません。私は、不転の覚悟で先頭に立ち必要な改革を推し進め、透明で公正な市政を実現していきます。

令和4年度当初予算は、公約の実現と第7次総合計画の着実な推進を念頭に置きながらも、市民の理解が十分でない事業については、一旦立ち止まり、再考し、健全な財政運営を図るため、事業の整理と効率化を行いました。

公約の実現については、「いつで

も市長室」を継続するほか、「地域づくりミーティング」を新たに開催し、より市民や地域との対話を充実させます。また、八郎太郎三湖物語に焦点をあてたシンポジウムやイベントを開催し、広域連携による新たな観光振興を図ります。そのほか、本市の歴史・産業・伝統・文化などについて学ぶ、鹿角キャンパス構想推進事業や十和田図書館整備事業など、「学問のまち」としての十和田地区にもスポットを当て、品格と風格のあるまちづくりを進めます。

基本戦略1 活力を生む地域産業・ 生業を支える

■地域産業の振興

市内企業への積極的な設備投資や

従業員の資格取得に対する支援をします。また、各分野のプロフェッショナル人材を活用して企業力向上アドバイザーを設置し、企業のマッチング支援をはじめ、トヨタ方式による生産工程の改善の普及や企業のICT化、マーケティング機能を強化することにより、市内企業の労働生産性の向上を図ります。

■農林業の振興

農業者の高齢化と労働力不足に対応するため、スマート農業の普及を図るとともに、JAかつのと連携したマッチングアプリの活用により、幅広い年齢層から人材を発掘し、農業に携わる人口を確保することで、経営基盤の維持・拡大を図ります。

また、農業農村支援機構を核とした経営サポートにより経営の効率化

基本戦略2 元気で健やかな暮らし を支える

■医療従事者の確保

かつの厚生病院の医療機能を維持させるため、新たに運営費に対する支援をします。また、産婦人科をはじめとする医師の確保については、医療機関や大学などの連携を強化し、地域に必要な医療体制を確保できるよう取り組みます。

■出会い応援・結婚支援

独身男女の出会いの場の創出と、結婚に向けたサポート体制を充実させるほか、新婚時における住宅取得などを支援することで、経済的負担を軽減し、結婚の希望が叶うよう応援します。

■子育て支援

放課後児童クラブの利用ニーズと児童の安全確保に対応するため、土曜日と学校の長期休業日を通年で7時45分から開所します。

■福祉の充実

高齢者福祉タクシー券は、1回あ

たりの利用枚数を拡充し、高齢者の社会参加を促進させるほか、高齢者等住宅除排雪支援事業の助成対象年齢を65歳以上に引き下げ、高齢者の生活を支援します。

介護予防については、「フレイル」の予防を強化するため、市民サポートによる「フレイルチェック」の推進と介護予防の「シルバリーハビリ体操」を効果的に連携させながら、健康寿命県内一を目指します。

障がい者福祉については、障がいの程度や特性に応じたサービスの提供や支援体制を充実させるほか、手話の啓蒙・普及を図るため手話体験講座を実施し、誰もが尊重され、社会参加できる地域づくりを推進します。

■姉妹都市との交流

ハンガリー・ショプロン市との姉妹都市提携が20周年を迎えることから、市制施行50周年記念式典に公式訪問団を招へいし、長年の友好交流の節目の年を祝うとともに、これまで両市が築き上げてきた絆をより一層深め、交流のさらなる発展を目指します。

基本戦略3 快適で安らぎのある 暮らしを守る

■水道水の安定供給

八幡平大里地区の一部において、配水管の拡張工事を行い、上水道の未普及地域を解消するほか、毛馬内小比泥地区および山根大畑地区において、老朽管更新工事を実施します。

■生活排水対策

八幡平小豆沢地区の農業集落排水施設の公共下水道への接続を進めるほか、合併処理浄化槽の設置費用への助成を継続することにより、生活排水処理対策の充実を図ります。

■安全・安心な住まいづくり

毛馬内住宅建替え事業のほか、高井田住宅の外壁補修工事などの長寿命化対策を進めます。また、中心市街地の中古住宅の利活用を支援すること、中心市街地への住み替えを促進させます。

さらに、危険老朽空き家などの未然防止と管理不全空き家の早期解消を図るため、適正管理度レベル2の一部を対象とした除却支援制度を、新たに創設します。

■鳥獣被害の防止

市街地周辺でのクマの出没事例が増えており、引き続き、迅速な情報提供や注意喚起に努めるほか、自治会単位による勉強会などを通じて、被害防止対策を講じます。

また、イノシシやニホンジカの目撃情報を踏まえ、捕獲体制を強化し、鳥獣被害防止に取り組みます。

基本戦略4 暮らしの安全・安心を 高める

■災害に向けた対策

地域住民による自主防災組織の育成と組織力強化への支援を継続するとともに、全世帯に配付した「鹿角市総合防災マップ」を活用し、出前講座などを通じて防災意識と地域防災力の向上を図ります。

災害に強いまちの基盤整備については、橋りょう長寿命化対策や融雪施設の更新整備など道路交通の安全を確保するほか、普通河川の整備や急傾斜地崩壊対策など、国土強靱化に向けた取り組みを進めます。